

令和8年度 川崎市立御幸中学校 経営方針 概要版

学校教育目標（2021年4月～）

生徒が創造する学校 生徒が創り上げた学校教育目標

心を磨き、地域・社会に貢献できる人へ

自律心 向上心
認め合う心 思いやる心 協力する心 感謝する心

学校経営方針

めざす学校像

- ・生徒が主体的に創造する学校
- ・わかる喜びとふれあう楽しさを実感できる学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

めざす生徒像

- ・主体的に考え行動する生徒（自律・向上）
- ・個性を尊重し支えあう生徒（認め合い・思いやり・協力）
- ・感謝の心を忘れずに行動できる生徒（感謝）

めざす教師像

- ・生徒に寄り添い受容できる教職員
- ・高い専門性と実践力のある教職員
- ・職務に情熱と使命感をもつ教職員

令和8年度 学校経営目標と求められる教師の姿勢

1 基礎・基本を大切にした学力の向上

- 次期学習指導要領を見通した指導内容の充実
- TT、少人数授業を含めた一斉授業の中での習熟度に応じた丁寧な学習指導の推進
- 信頼性の高い評価活動と指導法の改善
- GIGA 端末を効果的に活用した生徒の学習意欲を高める授業づくりを推進
- 経験や教科を超え、指導法の工夫・改善を互いに学びあう校内授業研究会の実施



- ・教師の授業力向上による、「授業でもえがお創造プロジェクト」の一層の推進
- ・習熟度別授業や TT を含めた授業形態の工夫とともに生徒個々への適切な学習指導
- ・生徒の学習改善・意欲向上につながる個別最適化の学びに対する適切な評価
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った GIGA 端末を活用した授業力向上
- ・協働的・探究的な学びの推進による教科横断的な学習の実践
- ・校内授業研究会による授業力の向上

2 心の通い合う人間関係の育成

- 心の教育を重視し、いじめや暴力が絶対に許されないという考え方の定着
- 一人ひとりの生徒の特性や教育ニーズを踏まえた支援体制の確立
- 生徒の内面への共感的理解に基づく相談活動の推進及び支援や指導による良好な人間関係の構築
- 不登校生徒への登校支援対策及び関係機関との連携による生徒・家庭支援の確立
- 心の教育を重視し、いじめや暴力が絶対に許されないという考え方の定着



- ・一人の生徒に複数の教員が関わることによるきめ細やかな指導と学級・学年や生徒会活動を軸とした啓発活動等による学校内の良好な雰囲気作り
- ・学習室の運用を含め、一人ひとりの生徒の状況に応じた適切な支援及び登校支援
- ・計画的な教育相談活動の実践とOJT等による教育相談スキルの向上
- ・効果測定の検証に基づく共生＊共育プログラムの実施
- ・学区3小学校及び地域関係機関との連携による登校支援体制の強化

○生徒が創造する学校の推進

- 生徒が創造する学校の推進
- 自己有用感、自己肯定感を高められる教育活動の工夫・改善
- 3年間を見通した道徳、特活、総合的な学習の時間の指導計画及び体制の確立
- 総合的な学習の時間（SELF）の個人探究を通してキャリア教育の推進
- 異校種や関係機関との連携による教育活動の推進
- 読書活動の推進



- ・「学校教育目標」の定着による生活習慣の向上
- ・生徒自らが考え、判断し、行動する、生徒主体の活動『えがお創造プロジェクト』の推進
- ・3年間を見通して行うキャリア教育定着に向けた学年共通の資料策定及び生徒の主体的活動への適正な支援
- ・生徒の話し合い活動を軸とした道徳・特活の実践
- ・SELFの個人探究を通して、自らの力で生き方を選択できる能力や態度を身に付けるキャリア教育の実践

4 市民に信頼される公教育の実現

- 心身ともに健やかで安心安全な学校づくり
- 適正かつ機能的・効率的な校内組織による働き方改革の推進
- 地域や保護者が参加しやすい行事等の企画、各種通信等による情報発信及び地域行事やPTA活動への協力体制の定着
- 生徒が地域を大切にする気持ちを育み、地域活動への参加を奨励



- ・生徒の実態に即した健康教育・安全教育の円滑な推進
- ・教員個々の適正や能力に応じた分掌配置と職や経験に応じた業務配分による機能化と効率化の実現
- ・地域にある学校として、地域や保護者への丁寧な説明及び学校公開日の設定、各種通信等を活用した積極的な情報発信
- ・生徒が意欲的に取り組める部活動の推進及び地域活動への協力